

## 会議録

|  |   |
|--|---|
| 会議の名称  | 西東京市生涯学習推進計画策定懇談会第7回  |
| 開催日時   | 平成20年12月11日(木曜) 14時00分から15時40分まで  |
| 開催場所   | 西東京市役所保谷庁舎 4階理事者室   |
| 出席者  | (委員) 貝塚座長、川口副座長、飯塚委員、金子委員、白倉委員、松嶋委員、水井委員、三原委員、<br>(欠席) 有馬委員、小田委員<br>(事務局) 小関社会教育課長補佐、神田社会教育係主査                        |
| 議題   | 1 計画素案の検討について<br>2 その他  |
| 会議資料の名称  | 資料1 西東京市生涯学習推進計画(平成21年度～平成25年度)素案<br>資料2 西東京市生涯学習推進計画策定に伴う意見交換会まとめ<br>資料3 生涯学習活動を推進するための試案イメージ図<br>資料4 みんなの生涯学習 NO.93 |
| 記録方法   | 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録  |
| 会議内容   |   |
| <p>開会</p> <p>配布資料確認</p> <p>第6回会議録【案】確認<br/>委員：(1)2ページ7行目は脱字がある。<br/>(2)(3ヶ所)「生涯学習総合情報窓口」「生涯学習情報総合窓口」<br/>(3)4ページ「ライフサイクル」「ライフステージ」<br/>事務局：了解した。修正する。<br/>座長：他になければ、指摘された点の修正で確定とする。</p> <p>議事2 その他<br/>座長：先に議題2の「その他」から始める。事務局から資料説明をお願いする。<br/>事務局：意見交換会の報告【資料2】<br/>座長：意見、質問はあるか。なければ議題1に進む。</p> <p>議事2 計画素案の検討について<br/>座長：今日は「3-1」について内容を検討する。来月に「3-2」以降を議論する。前回は「ゴール」と「プロセス」について議論したということだが、今回は「アクション」について重点的に進めさせていただきたい。柱ごとに議論したい。<br/>事務局：計画素案全体(前回資料からの大きな変更点)について説明【資料1】</p> |   |

座長：確認したい点はあるか。

座長：（目次：3-2(1)について）「育める」なのか「高める」なのか。

事務局：原計画の「育める」を引用した。

座長：「育める」だと主体が違ってくるのではないか。

事務局：前は、ライフステージの柱は市民を主体とした目線で文末を整えた。全体の中で違和感があるなら調整は可能。

座長：この件についてでも他の件でもよいが何かあるか。後で戻ってもよいので次に進む。先ほど説明した段取りで「アクション」について検討する。区切ったほうがやりやすいと思うので、(1)、(2)、(3)と(4)の3つに分ける。

事務局：計画素案「3-1(1)」について説明【資料1、3】

委員：（11ページ）「情報リテラシー」という語句は必要なのか。意味がわかりにくい。

事務局：削除又はコメントを付けるように検討する。

委員：（資料3）図はわかりやすい。企画提案事業が実施されたらこの窓口と何か関連はあるのか。

事務局：直接的には関連はない。企画提案の内容が「各種情報」として提供される。

座長：（13ページ）「サポーター制度」はどのようなイメージか。

事務局：生涯学習に関する知見やノウハウを持つ職員や異動した社会教育関係職員等、職員の知識や経験等を活用して職員を活用して生涯学習に関する説明や案内をする制度。

座長：他になければ次に進む。

事務局：計画素案「3-1(2)」について説明【資料1】

座長：（15ページ）「市民参加の施設管理」とはどのようなイメージか。

事務局：コミュニティセンターでは運営協議会を設置している。

座長：うまく機能しているのか。

事務局：職員を配置していたときは画一的な対応しかできなかったが、柔軟な対応ができています。今は指定管理者と市が契約して運営している。

座長：（17ページ）「うるおい」や「ゆとり」は唐突な感じがするが市のキーワードなのか。

事務局：キーワードというわけではないが、建物以外の空間のイメージを表現する形で言葉を使用している。総合計画でも公園等に関して使用されている。

委員：（17ページ）例えば、施設利用希望が重なったときに、個人情報保護の関係で直接交渉ができないことがあったが、「支えあい」や「ゆずりあい」に関してどう考えればよいか。

事務局：個人情報管理は厳しくなっている。抽選が基本だが、事前申請という制度もある。希望が重なったときは担当に相談してほしい。重要な視点だと思うので、今後検討していきたい。

座長：個人情報保護は厳しすぎる弊害がある。過渡期のような気がする。

委員：全体的に前回資料よりかなりよくなっている。（17ページ）「交流」という言葉が削除されているが、残したほうがよい。また、「滞在型」に限定する必要はないのではないかと。資料3はどこかに含まれるのか。

事務局：指摘事項は了解した。資料3はパブリックコメントには含まれない。  
委員：（資料3）企画提案は「講師となる市民」だけではないのではないかと。団体からも提案している。  
事務局：今回は、NPO等からの提案事業とは別の制度で、市民自らが講師となるという事業ということで提案している。事業名称はまぎらわしいので今後検討する。  
座長：「取組み」と「取組」はどちらかに統一したほうがよい。  
事務局：全体で調整して統一する。

事務局：計画素案「3-1(3)(4)」について説明【資料1】  
座長：「エキスパート」（21ページ）、「コーディネーター」（24ページ）、「サポーター」（13ページ）は概念・役割のいずれかの整理が必要ではないか。  
事務局：それぞれのイメージを説明できるようにしたい。  
委員：「エキスパート」とは職員だけではなく関係機関や団体の育成も含まれていると理解しているがそれでよいか。  
事務局：主に職員を意識している。  
委員：公民館や図書館の職員では「エキスパート」と「サポーター」は同一になるのか。  
事務局：公民館や図書館の職員は、公民館主事や司書等職名があるが、その人が異動したりするとサポーターとなる。「エキスパート」は職能の優れた人材、資格や経験等がある人材等をイメージしている。  
委員：「サポーター」は公民館や図書館にもいることになるのか。  
事務局：公民館や図書館は専門職が配属されている。生涯学習の経験などを持っている職員を活用しようという趣旨。  
座長：他にあるか。  
事務局：欠席された委員から市民提案の事業の名称についてメールで案をもらっている。

A案)市民参加学習事業「あなたも市民講師」

B案)市民てづくり学習事業「あなたも市民講師」

委員：A案の「参加」は「参画」のほうがよい。  
事務局：最終形にする前に他にも提案があればいただきたい。  
座長：（19ページ）「促進する」と「促す」が混在しているのはどうか。  
事務局：検討する。  
座長：（20ページ）「学校支援ボランティア」か「学習支援ボランティア」か。  
事務局：「学校支援ボランティア」に統一する。  
座長：（20ページ）「学生ボランティア」は「学生教育ボランティア」ではないか。また、「小中学校」と「小・中学校」も統一したほうがよい。  
委員：（24ページ）コーディネーターに関する記述は前回よりよくなった。  
事務局：全体をとおして何かあれば意見を言って欲しい。  
委員：（資料3）企画提案事業の流れについて、市の役割は場所の確保とPRだけでよいのか。例えば、コピー機の使用を許可するなどあればよいと思う。  
事務局：次年度に事業の具体的手順を検討する場を持ちたいと考えている。  
委員：（11ページ）インターネットをどのように活用するのかイメージしにくい。ホームページとかメーリングリストとか形をイメージできればありがたい。

事務局：展開イメージをつくりたい。

座長：他にあるか。なければ、本日は以上とする。次回は1月8日(木曜)。パブリックコメントは12月15日の市報で公表されるのか。

予定より半月遅れでパブリックコメントを開始する。パブリックコメントの意見への回答の公表は3月を考えている。次回にはパブリックコメントの意見の全てを紹介できないことを了解して欲しい。また、本日いただいた意見のうち、修正が間に合うものは素案に反映してパブリックコメントに出す。